夕刊
磐城時報
十九日
編輯兼發行 岡田弘成
印刷人
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

志願者二千四百名 採用は百三十名
鐵道の傭人試驗

水戸運輸事務所管内の傭人採用第一次試驗は過般磐城中學でも行はれたが此程結果を發表、身体檢査を終えた上來る二十二日、二十三日頃水戸運輸事務所で第二次試驗が行はれる。水戸管内の受驗は既報の如く二千四百名、このうち採用は僅か百三十名位である。

▲操車競技會　二十六日原町驛構内で行はれる操車技術競技會に平驛から山崎驛長外十名が參觀のため出張する。

平を中心に 驛長會議

水戸運輸事務所管内第五部平―植田間、平―小川郷間驛長會議は二十日午前九時半から平驛に開くが、花時旅客待遇、運轉營業傷害事故防止、養蠶神社參詣團体募集（川尻在で五月頃の豫定）その他について協議する。

内郷校卒業生の 就職希望者
八十名は決る 鐵工方面の希望者が多い

内郷村高坂校高等科の卒業生は男子二百二十五名、女子百八十三名であるが、雄々しくも父兄の許を離れて實社會の舞臺へ飛び立つのに學校當局は大童で就職方の斡旋に努めてゐるが、現在で就職申込者は百三十二名で希望者は殆んど軍需インフレの反響で鐵工所への就職希望ばかりであるが、決定して居るもの約八十名で本月末までには全部就職して第一線へ送り出されるが、變つた希望者は女子の東京女中養成所の二名であり、大部分は鐵工所、紡績會社方面で決定して居るが主なるものは

△磐城炭礦綴製作所△保土ヶ谷製作所△海軍工廠△航空廠△大阪鐵工所△郡山鐵工所△日清紡△鐘紡

等であるが何れも學力よりも身体檢査に重きを置く傾向であり就職希望者は全部第一線へ送り出される好成績に係職員もホク〳〵の態であるが、學校に於ける職業指導の試金石でもあると

花の平町で 縣下青年團大會
四月十七日に決定

縣聯合青年團では十七日午前十時から縣青年會館に代議員會を開き協議の結果本年大會を四月十七日平町で開催に決定した。尚役員改選の結果は團長に諸橋學務部長、副團長高井社會教育課長とも重任、民間側の副團長には佐藤福島市長が當選した。

▲内郷軍人總會　内郷村在郷軍人分會では廿一日午前八時から家政女學校内に春季總會を開いて會長、副會長、理事の改選を行ふ筈である。

石城の蒟蒻 縣營檢査

石城郡製蒟組合では郡下の生産額拾五萬圓を突破するに至つたので多年の要望である縣直營檢査の實現を期して愈々縣當局に對し猛運動を起す事になつた。

四倉築港 第二期工事

四倉町では十二年度に於て四倉港築第二期工事を着工と決定工費六萬圓を計上した。

石城郡 清酒品評會

石城郡酒造組合主催酒品評會は廿三日、四日、五日の三日間平税務署に開くが出品は百六點の見込みで廿四日審査長縣技師千葉佐仲氏審査の上廿五日褒賞授與式を擧行する。

大破した傳馬船で 死を待つ漁夫
けさ豊間沖合で發見 十七日の烈風で遭難

小名濱町中坪太田豐太郎所有底曳網漁船第二德榮丸（二十噸）の乘組員關根直（四五）が十九日午前八時半頃四倉沖合に出漁の途中豐間燈臺沖合三浬の海上で大破した傳馬船の中に瀕死の狀態となつてゐる漁夫を發見自分の船に乘り移し小名濱漁業組合事務所で手當を加へてゐる。右は相馬郡新地村大字釣師濱漁夫小野壽七（四九）で十七日の暴風に遭ひ空腹と寒さのため死を待つばかりとなつてゐたもので實家では十七日朝出たまゝ行衛不明となつたため遭難溺死したものと思つてゐたものであつた。

磐中と平商の 入學志願者殺倒
既に定員を超過す

縣立磐城中學校及び平商業學校の入學志願者受付は二十日と切るが、十八日現在の志願者は磐中定員二百五十名に對し二百五十七名、平商定員百十名に對し百六十名、でいづれも定員を超過した。期日はあと一日だが平町外近在の小學校から取まとめた願書が殺倒するものと見られてゐるので結局昨年同樣激烈な試驗地獄を展開することゝならう。尚試驗期日は磐中二十七日から三日間、平商は二十七二十八の二日である。

養蠶組合で 荒廢施設講習

縣養蠶業組合主催石城郡に共濟備荒施設督勵懇談會は廿二日平町平陽女學校に開く。

▲湯本町豫算　湯本町の明年度豫算總額は二十二萬三千圓で（内譯一般豫算十萬九千六百五十九圓、特別會計水道部五萬一千五百圓、公設質屋六萬一千九百四十圓）で小學校新築（工費四萬圓）の件は追加豫算として計上することゝなつた、戸數割一戸當り十四圓五十錢（昨年より一圓卅錢增額）である。又同町三函地内に工費五千七百圓半額國庫補助で建設中の公設質屋は本月末で完成するので四月上旬移轉するが運轉資金も增して居り町當局は更に利用の增大を計つてゐる。

平專賣局の 煙草賣上高
一ヶ年で七十六萬圓

水戸地方專賣局平出張所管内三十二ヶ町村の煙草小賣店は現在六百二十軒あるが昨年四月一日から本年三月までの賣上高は

四月	五五九三四、四六
五月	五八〇一七、五六
六月	五五九九四、五四
七月	五六六三二、—
八月	六二五八九、九九
九月	六〇一九五、九〇
十月	五九九〇二、五一
十一月	六〇六〇八、二六
十二月	七〇七六九、二八
一月	七四〇七三、三七
二月	七一二四九、三四
累計	六八四、六五、三六
三月（見込）	七五〇〇〇、—
合計	七五四八六五、三六

といふ驚威的數字を見、斷然水戸管内の最高位を示してゐる、これを前年に比すると六萬二千六百三十七圓の大激增で賣行のよいのは相變らず兩切りではバットの四百五萬七千五百六十六個二十六万八千四百八十三圓六十七錢が群を拔きお、次ぎは口付朝日の七十一萬九千二百三十七個十萬一千六百七十七圓六十三錢、きざみではなでしこの大二十三萬三千五百六十五個六萬七千四百七十一圓五十五錢小八十八萬六千五百五十一個三萬三千二十四圓七十一錢といふ順で季節的に見ると矢張り正月の賣上げが一番多く、お盆から海水浴時にかけても平常よりは一割乃至二割の好賣行振りを見せてゐる

▲内郷村會　内郷村では二十日午前十時から村會を招集して昭和十一年度歳出に關し經常部追加二百一圓、役場費中消耗品六十圓滿洲派遣兵送別會費六十三圓、其他七十八圓、臨時部補助費中兒童就學奬勵補助三百七十八圓に關する承認の件並びに三月三十一日任期滿了に依る後任區長九名區長代理九名推薦の件。

▲東條書記視察　平驛竹内助役、東條書記は來る二十三日から五日間の豫定で東鐵管内の役務視察に出張する。

▲圍碁大會　平町一丁目平圍碁倶樂部では廿一日大會を開く、會費五拾錢、多數參加を希望すると。

▲幼稚園卒業式　平町材木町信榮幼稚園第十五回卒業式は廿三日執行する。

内郷村の 出生死亡

内郷村役場調査に依る昨年度中の死亡者は五百七十三名で、最高は呼吸器の疾患に依るもの百二十四名で、急性肺炎による乳兒が六十八名で外因死に依るもの六十一名で炭礦勞働者の不慮の災害に依るもので、消化器の疾患に依る死亡六十名血行器の疾患五十一名で傳染病に依る死亡者四十名で肺炎核に依る死亡者男九名女十三名、其他の結核に依るもの七名であるが、乳兒の死亡は殆んど大部分は營養不良であり呼吸器死亡は住宅其他寢具類の粗惡のためが大部分であり如何に炭礦勞働者街の生活が實際に窮迫して居るかを物語るものであると。

定評ある大塚の靴
男學生靴……大賣出し
女小學生通學靴各種
つちや會社製
◎月星　運動靴
ゴム長靴
〔型の良い將校ゴム長靴
舗裝道路に—ゴム半長〕
平・田町銀座通り
大塚
電話七十七番
小店員
十四五才より
四五名募集
時代的營業明細面談

◇し近期學新々愈◇
手提鞄!!
ランドセル
入學用品!!
富陳列
ヤルツ
電一四〇

東京
和洋家具
百貨出張大賣出し
期間十五日ヨリ廿四日迄（十日間）
毎日午前八時より午後十時まで
十ケ月拂
但し二十圓以上は十ケ月拂
二十圓以下は月二圓拂
配達無料　毎日午前八時より午後十時まで
御覽下さい　内郷村宮
於　磐城劇場

吉田眼科醫院
平町紺屋町（電話六八番）

大日本美術會院友
森山麥笑畫伯個人展
期日　三月二十日、二十一日
（午前八時—午後五時）
場所　平町マルトモホール
三月十五日　森山麥笑後援會
（一般來觀歡迎）

生徒募集
躍進日本の女性に
婦人の職業として
產婆看護婦をお奬め致します。
それには成績の最もよいと定評のある
平南町　產婆看護婦學校へ
◎申込み成るべく早く
◎新學期の開始は四月八日より
平產婆看護婦學校
校長　清野キヨ　電三〇七番

和洋銅鐵金物問屋
◎釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九番

モートルと
變壓器は
佐藤鐵工所へ
平町月見町
電話三六二番

診夜
腸胃　內科　胃腸病科
泌病　花柳病科　性病科　泌尿器病科　皮膚科　肛門病科
專門
松村醫院
平町南町（電一〇七番）
寮間

醬油と味噌
鹽
福島縣平町
屋
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
明治生命　磐城代理店　山崎與三郎

吸入用純度99%
酸素
モノサシ
ハカリ
マス
體溫器
寒暖計
秤ノ取締・鍾糸・修覆致シマス
寫眞機材料一式
開業
內藤藥局
電話四〇番

おすはま製造
折詰
お惣菜用さつま揚・吉原揚
平町一丁目
ヌマ屋
電話一四一番

魚召すならヒノマル凍魚へ
◎新鮮な冷凍貝燒あります
鯛　マナ鰹　ワカサギ
エビ　甘鯛　帆立貝
白魚　カナ頭　うに貝燒
日本水產二手特約（電三八・三二六番）
配達ご用命一箱
卸小賣　平製氷會社
販賣店　魚問屋
四丁目　五二八番

干やなぎ
いか切込の御注文は
是非
仙魚店へ
美味…休裁優美は
當店のモットーです
鰹節・鹽辛
鮮魚仕出し
丸仙
電六六二番